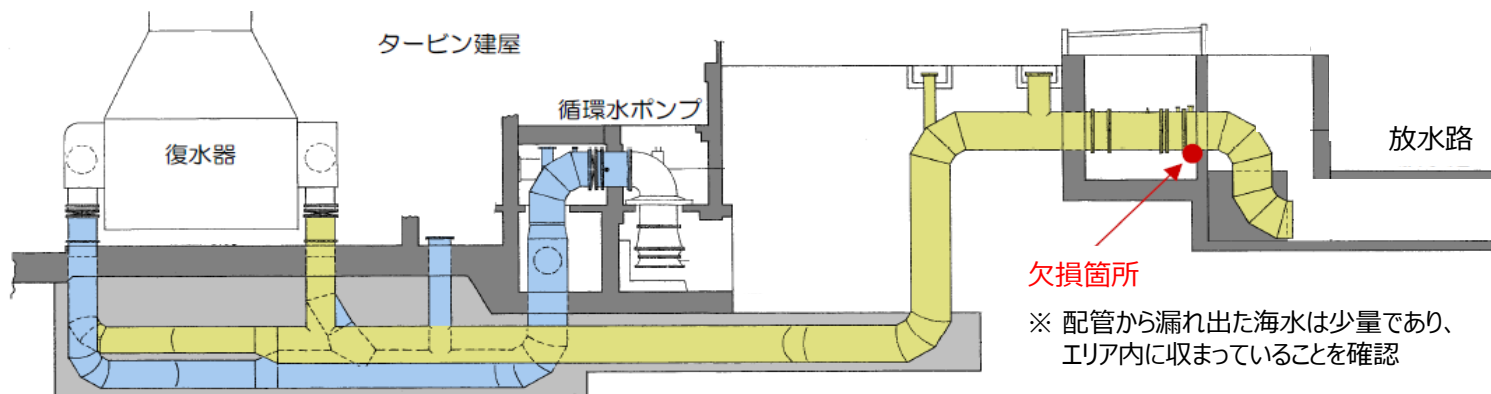


# 柏崎刈羽原子力発電所7号機タービン系の主要設備の健全性確認状況について

- ▶ 長期間使用していないタービン系の主要設備の健全性確認のため、10月20日、7号機循環水ポンプを起動。起動後、軸封部から出る排水（海水）を回収する柵に砂等が溜まっていた影響で、同フロアの排水口から床面に合計23Lの海水が溢れ、循環水ポンプを停止。（排水柵の清掃を実施済）
- ▶ 一方で、循環水ポンプ停止後に設備回りの点検をしたところ、循環水ポンプ(A)から繋がる放水路側の循環水系配管の下部に、円形状の欠損（直径約60mm）があり、少量の海水が漏れ出ていることを確認。今後、欠損が発生した原因を調査し、補修を予定
- ▶ 引き続き、主要設備の機能が十分に発揮できるよう、設備の健全性確認を実施し、必要に応じて適切に修繕を行っていく

## <概要図>



## <循環水系配管欠損箇所>



## <循環水系配管欠損箇所（拡大図）>



# 参考：発生場所概要図

## 概要図

